

29【C】1038

分子標的スクリーニングによる新しい天然医薬シーズの探索

Search for New Medicinal Seeds from Natural Resources with the Molecular Targeted Screening

○宮本 智文¹(¹九大院薬)

21世紀、がん治療は分子標的治療薬の導入により大変革を遂げつつある。ハーセプチン、グリベック、イレッサと相次いで分子標的治療薬の販売が認可され、マスメディアにおいてもしばしば“分子標的”という言葉が耳にするようになった。しかし、分子標的治療薬にはまだまだ解決しなければならない多くの課題が残されており、現在も新しい分子標的の同定や分子標的を更に効率よく抑制する化合物の探索が精力的に行われている。我々の研究室においても、薬用植物や海洋無脊椎動物などの天然資源を探索源にし、血管新生阻害、多剤耐性克服、アポトーシス誘導および腫瘍壊死因子をターゲットとしたスクリーニングにより新しい医薬シーズ探索を行っている。本シンポジウムでは VEGF や bFGF などの血管新生促進因子を標的とした天然由来の血管新生阻害剤に関し、最近の研究成果を中心に講演する。